

部門名	電気設備工事
案件名	松江市営野球場スコアボード更新（電気設備）工事
工期（始）	令和3年10月7日
工期（終）	令和4年3月15日
場所	上乃木十丁目
事業者名	(株)八束電工／山陰電気工事(株)
代表者名	代表取締役 大下 浩樹／代表取締役 深田 隆雄
技術者役職	監理技術者／主任技術者
技術者名	大西 秀和／松浦 泰
工事概要	野球場スコアボード表示面の更新（既設磁気反転式からフルカラーLED）及びそれに関連する機器・配線等の更新
表彰理由	<p>本工事はスコアボードを磁気反転式からフルカラーLED式に更新したものである。</p> <p>総合運動公園内の歩行者の安全対策や他工事との動線管理など、施工にあたり様々な制約のある中での工事であったが、関係者と協議を行い、適切な管理を行った。また、冬期の工事であったが、綿密な工程管理を行い悪天候の影響なく工事を竣工した。</p> <p>出来形・品質管理も適正であり、全体的に優良な工事であった。</p>

本工事は新たな校舎等の空調設備を行った工事で、2社で構成された特別共同企業体による施工である。

本工事の表彰技術者である、株式会社八束電工の監理技術者（当時）大西秀和氏は受賞の感想で、「とても嬉しいです。工事に携わった全ての関係業者の方々に感謝します。」、山陰電気工事株式会社の主任技術者（当時）松浦泰氏は、「多くの観客が楽しみにするスコアボードの更新工事に携わることができ誇りに感じました。」と話す。



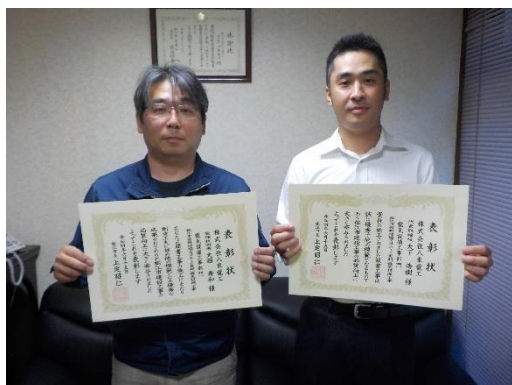
本工事で心掛けたことは、「より良く安全に工事ができるよう協力業者の方々と常に話し合い同じ目標を持つ事でした。協力業者の皆さまと、ともに良いものをつくることができましたと思います。」（大西氏）、「公園を利用される歩行者の安全を考慮した施工を計画し実施しました。」（松浦氏）と語り、印象に残ったことについては、「LED パネルの据付で重量物の据付精度を高める為、関係業者と共に協力しあい工夫し効率よく安全に完成できたことです。」（大西氏）と話す。

仕事における今後の目標について、「今回のスコアボード更新も初めての経験でしたが、今後もいろいろ

ろな事に挑戦していきたいと思います。」(大西氏)、「日々進化する IT 関連に対応できる電気設備の知識を身につける様、自己研磨に励みます。」(松浦氏)と話す。また、建設業のやりがいについては、「工事完了までの苦労は引き渡しの時にお客様から頂く笑顔で、達成感と感動を得ることが出来ます。」(松浦氏)と語る。

これから建設業界を目指す人へは、「多種にわたる電気設備の業務に取り組むためには、努力して知識を習得しスキルを身につけましょう。」(松浦氏)とメッセージを送った。

最後に、それぞれが勤務する会社について紹介してもらいました。「社では何よりも社員を第一に考えて経営を行っております。お客様のもとで工事をさせて頂くのも、最新の技術や製品をご提案させて頂くのも、すべて社員です。社員一人ひとりが仕事に誇りをもち、やりがいを感じ、日々成長していけるそんな企業です。」(株式会社八束電工)、「社員それぞれが誠意を持ってお客様に対応し、ご満足のいただける e c o な電気設備を提案して施工させて頂きます。」(山陰電気工事株式会社)



株式会社 八束電工
(写真右) 代表取締役 大下氏
(写真左) 監理技術者 大西氏



山陰電気工事 株式会社
(写真右) 代表取締役 深田氏
(写真左) 主任技術者 松浦氏